

市内中小企業の景況について

第 127 回京都市中小企業経営動向実態調査【結果概要】

～今期企業景気 DI は 2.5 ポイント上昇，来期見通しは 0.6 ポイント低下～

市内中小企業の経営実態，経営動向などを把握するため，四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」及び「付帯調査（持続可能な経営の取組について）」の結果がまとまりましたので，御報告します。

<市内中小企業の景況について（別紙 1 参照）>

○今期（平成 3 0 年 4 月～ 6 月期）実績

- ・ 今期の企業景気 DI は，全産業で 2.5 ポイント上昇（43.1→45.6）。製造業で 2.8 ポイント上昇（44.5→47.3），非製造業は 2.1 ポイント上昇（41.7→43.8）。
- ・ 業種別では，情報通信が 70，窯業，金属が 60 を超える水準に。

※調査は，前年同期比での「上昇・増加や下降・減少」を問うもの

- ・ 製造業（上昇：西陣，染色，窯業，金属 ／ 低下：印刷，化学，機械，その他の製造）
 【主な上昇理由】・「受注量の増加」（南区／金属）
 【主な低下理由】・「市場の冷え込み」（南区／印刷）
 ・「受注量の減少」（南区／機械）
- ・ 非製造業（上昇：小売，情報通信，サービス，建設 ／ 低下：卸売，飲食・宿泊）
 【主な上昇理由】・「民間工事の受注増」（下京区／建設）
 【主な低下理由】・「競合相手（宿泊施設）の増加」（中京区／飲食・宿泊）
- ・ 観光関連は，11.5 ポイント低下。

○来期（平成 3 0 年 7 月～ 9 月期）見通し

- ・ 来期の企業景気 DI は，全産業で 0.6 ポイント低下（45.6→45.0）。製造業で 0.8 ポイント上昇（47.3→48.1），非製造業で 2.2 ポイント低下（43.8→41.6）の見込み。
- ・ 先行きについては，窯業，情報通信，建設等で低下の見込み。

- ・ 製造業（上昇：印刷，化学，機械，その他の製造 ／ 低下：染色，窯業，金属）
 【主な上昇理由】・「エネルギー関連の需要増」（南区／化学）
 ・「客先が好調」（伏見区／機械）
 【主な低下理由】・「原材料の高騰」（下京区／染色）
- ・ 非製造業（上昇：飲食・宿泊 ／ 低下：卸売，小売，情報通信，サービス，建設）
 【主な低下理由】・「仕入価格の上昇」（北区／卸売）
 ・「配送費の上昇」（下京区／小売）
 ・「受注量の減少」（西京区／建設）
- ・ 観光関連は，1.9 ポイント上昇の見込み。

※ 西陣は，前期と同水準

(参考) 1 調査対象企業数 800 社。うち 482 社が回答（回答率 60.3%）

$$2 \left[\text{企業景気DI} = \frac{(\text{上昇, 増加と回答した企業割合}) - (\text{低下, 減少と回答した企業割合})}{2} + 50 \right]$$

<経営上の不安要素>

- ・ 経営上の不安要素は、上位から「人材育成」が47.5%、「売上不振」が40.4%、「競争激化」が32.9%、「人手不足」が30.0%、「人件費増加」が25.4%と続いている。
- ・ 前期との比較では、「販売価格安」が3.5ポイント増と最も増加し、続いて「売上不振」が2.6ポイント増となっている。
- ・ 「人手不足」が3期連続で30%を超えたほか、「原材料価格上昇」は4期連続、「仕入値上要請」は3期連続で上昇している。
- ・ 業種別にみると、「人材育成」を挙げる業種は、印刷、窯業、化学、金属、機械、その他の製造、情報通信、飲食・宿泊（※）、サービス、建設の10業種、「売上不振」を挙げる業種は、西陣、染色、卸売、小売の4業種。

※ 他に「人手不足」が同数。

<付帯調査：持続可能な経営の取組について（別紙2参照）>

A 持続可能な企業経営、レジリエンスの向上に向けて取り組んでいるものはあるか。（複数回答可）

～「実施していない」が61.5%と最多～

- ・ 実施していない理由は、「ノウハウがない」が42.2%、「実施する人材がいない」が33.8%、「必要性を感じない」が28.5%となっている。
- ・ 実施している取組内容は、「後継者への引継ぎに向けた事業承継計画の策定」が16.1%、「緊急時を想定した訓練の実施」が11.5%、「緊急時の対応を想定した計画等の策定」が10.9%となっている。
- ・ 「緊急時の対応を想定した計画等の策定」と回答した企業が想定している事象としては、「地震」が75.0%、「火災」が60.4%、「台風・ゲリラ豪雨・洪水・豪雪」が54.2%となっている。

B 後継者を選定しているか。

～「選定している」が50.3%と、回答はほぼ二分～

- ・ 選定していない理由は、「適当な人材が見つからない」が33.0%と最も高く、続いて「後継者候補がいるがまだ若い」が32.5%、「後継者を決定する必要がある（廃業予定など事業継続の意思がない）」が11.5%と続いている。

C 持続可能な企業経営に向けて地域活動に参加しているか。（複数回答可）

～「実施していない」が34.6%と最多～

- ・ 実施している取組内容は、「地域のまちづくりへの協力」が27.9%、「まちの美化活動など地域の環境対策」が22.7%、「地域の文化・芸術活動への協力」が22.4%となっている。